
世界の終わり

P

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界の終わり

【著者名】

ZZマーク

N6390A

P

【あらすじ】

永遠にも思えるこの世界、その終わりは一体いつ訪れるのか。

世界の終わり

THE WORLD ENDS TODAY

世界は今日終わる、そう書いたプラカードを持った男が昼の街を歩き回っていた。警官である私には秩序を守る義務がある。やれやれとは思いつつも、私はその男に近づいていった。

「THE WORLD ENDS TODAY!」

男は大声で叫んでいた。とにかくついでいい。この様子だと町中に響き渡っているかも知れない、と思わず大げさに考えてしまう程だ。私は更に近づき男の肩を掴み、言つた。

「やめる、町中が迷惑している。何のつもりだ？」

男は僧衣というのか長いゆつたりとした布をまとい、足元はサンダル履き。おまけに髪が顔の下半分を覆っている。いかにもインチキ臭い預言者といった印象を受ける。

「神のお言葉だ」

やはりその類か。男はそれだけ言つと、再び大声で先程の言葉を繰り返し始めた。この距離で聞くと死んでしまうのではないだろうか。

「や・め・り!」

私はもう一度男に忠告した。しかし男はやめる気配を全く見せない。私は腰の拳銃を取り、威嚇の構えを見せた。だが男はこちらを一瞥することも無く、叫び続けている。

私は空に一発、銃を撃つた。

男はやっと足を止めこちらを向いた。しかし銃に怯む様子は全くない。

「神の啓示を妨げるな、神のお言葉は絶対である」

「迷惑行為は条例で禁じられているんだぞ」

「神のお言葉だ」

私は頭をかきむしめた。こういうタイプは何を言つても無駄だ。ひとつ小さなため息をつき、空に目をやつた。すると、何かが自分に向かってくるのが見えた。看板だ！ それだけわかると、私は押しつぶされてしまった。

薄れいく意識の中でわかつたのはふたつだけだ。

ひとつは、威嚇で撃つた弾が看板を落としたらしいこと。

もうひとつは、男の叫ぶ言葉の意味だ。

「THE WORLD ENDS TODAY！」

私の世界は次第に暗闇へと移ろいでいった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6390a/>

世界の終わり

2010年10月17日07時09分発行